



おやじ通信



春に根木内学区に着任されて半年経つ小中の両校長先生から、「学校」と「地域」をテーマに寄稿していただきました。根木内おやじの会はこれからも頑張つて活動してまいります！

「チーム根木内」から「チーム学校」へ

松戸市立根木内小学校校長 田中 諒明



平成29年3月に道徳、英語の教科化、プログラミング教育の導入等が明記された新学習指導要領が告示されました。現在は移行期間であり、平成32年度に全面実施されます。このことは、ご存知の方も多いと思います。しかし、今回の改訂では、もう2つキーワードがあります。それが、「社会に開かれた教育課程」と「チーム学校」です。

この2つのキーワードには、「グローバル化が進み、さらに複雑化する社会を子ども達が生き抜く力を育むために、小学校は地域に開かれた学校をめざし、子ども達を、学校、保護者、地域、学区の小中学校、そして専門機関が連携して育て、見守っていく場である。」という意味が込められていると考えています。しかし、この「チーム学校」をめざすには、地域社会としっかり

縁ありまして、『根木内おやじの会』の立ち上げから関わらせていただいております。根木内には、かつて大変な時期がありました。その時「チーム根木内」として、保護者・地域の協力を仰ぎ、おやじの会の皆様に支援していただき乗り越えてきました。これからの、『根木内おやじの会』は、「チーム根木内」をはるかに超えた「チーム学校」を担う中核の存在であると私は確信しております。これからもよろしくお願いたします。

「共育」を支えるもの

松戸市立根木内中学校校長 亀川 栄和



子どもは、親にとって何物にも代えがたい宝です。その宝を預かっている学校は、我々教職員が一丸となつて、誠心誠意責任を持って教育にあたることは当然のことです。しかし、子どもの教育は、学校だけでその効果を十分にあげることができません。学校と家庭が車の両輪となつて、宝である子どもを乗せ、同じ方向に向かつて、同じスピードで進んでいくことがとても重要になります。

また、子どもの教育は、学校、家庭、地域がそれぞれ、それぞれの教育機能を発揮してはじめて成り立つものだと思います。学校、家庭、地域が手を取り合つて、未来を担う子どもたちに、人間らしく生きるための基礎を身につけさせることに最善を尽くす必要があります。本校教育方針である

- 10月14日(土)キャリア教育 根木内小 講師役
 - 21日(土)根木内祭り 手伝い 根木内神社
 - 25日(水)合唱コンクール 交通整理、鑑賞 根木内中
 - 28日(土)活動報告会 14時 根木内会館
 - 30日(月)保護者会 駐輪場整理 根木内小
 - 31日(火)G サポート 根木内中 正門付近集合
 - 11月3日(金)晴香園 晴香園フェスタ 手伝い
 - 19日(日)学童 ねぎっこ まつり 駐輪場整理
 - 25日(土)福祉フェア前日準備
 - 26日(日)福祉フェア餅つき
 - 28日(火)G サポート 根木内中 正門付近集合
- 「広場」とはおやじの会「広場」の略で、先生方や会員の交流の場です。
◎ 会場：串揚げ工房 穂(すい) 小金原五・二九・一三
- 根木内おやじの会では会員を随時募集しています。地元の小中学校の支援を通して、子どもたちのため、地域のため、仲間づくりのため、空き時間で人生を豊かにするため等、様々な目的で老若男女の会員が楽しく(本当です)活動しています。詳細は事務局かHPかFacebookへお気軽にお問い合わせください。志あるあなたのご参加をお待ちしています！